

## 令和5年度 指定管理施設の管理運営状況(年間)モニタリング評価表

## 1 施設概要

施設の名称	浦添市立内間児童センター
指定管理者名	株式会社 オフィスハート
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日

## 2 利用状況

利用月	利用者目標数	利用者数	利用率%
4月～9月	3,451	6,873	199.16
10月～3月	4,772	6,120	128.25
合計	8,223	12,993	327

## 3 収支の状況

	予算額	実績額	差額
収入			
指定管理料	15,120,186	15,120,186	0
利用料金	35,000	18,800	16,200
受取利息	0	0	0
収入合計(A)	15,155,186	15,138,986	16,200
支出			
人件費	11,255,000	11,562,539	-307,539
外部委託費	1,944,800	1,643,908	300,892
その他経費	1,939,186	1,793,548	145,638
支出合計(B)	15,138,986	14,999,995	138,991
収支合計(A)-B)	—	138,991	—

4 精算額 138,991 円

## 5 自主事業

事業名	内容	利用者数
～木育で発達・情緒安定をサポート～ 木育推進事業	交流スペースの床に、木の床材や自然をイメージさせる人工芝を引き、温もりを感じる「木育スペース」作り、木のおもちゃを入れ替えしながら多数設置し、効果と体験を提供している。	12,993
～孤立・孤食を防ぎ、様々な家庭ともつながる沖縄の食育～ <b>内間子ども食堂</b>	2020年の賞味期限間近のマジックライス活用から始まった食事支援は、毎週40食の弁当配食(3センターで150食を作る)まで支援が広がっている。	1,303
～命の大切さ、自然への関心を高める(美ら海水族館連携)～ <b>うちまアクアリウム</b>	2020年に実施したアクアリスト養成講座から、引き続き沖縄美ら海水族館様の協力のもと、海の魚の飼育や観察を日々子ども達と行っている。	1,856
～命の大切さ、自然への関心を高める(美ら海水族館連携)～ <b>生き物育成事業</b>	ウサギやカブトムシを飼育することで、利用児童が可愛がり、餌や水をあげ、掃除などを行い、命に触れる教育を引き続き行っている。	1,856
～日々の活動に変化を！～ 図書の日	毎月第3土曜日を「 <b>図書の日</b> 」とし、普段遊んでいるおもちゃの貸出を行わず、センターにたくさんある本を手に取り、読むことの楽しさや面白さを感じている。	2,345
地域交流	日頃から連携する公民館の文化的行事(このぼり、夏祭り、秋祭り、獅子舞、もちつきなど)の他、内間厚生保護女性会さんと民生委員さんが、ぼーぼーとヒラヤーチーを作ってくれる機会もあり、こども達が楽しみにする貴重な体験となっている。	1,624
合計		21,977

6 指定管理者の分析(サービス向上の取組等)

(全体を通して)子ども達が安全に楽しく過ごし、無事に指定管理4年目を終えることができたことを何より嬉しく振り返ると共に、内間地域の特性を実感を持って理解し、コロナ禍対策も必要なく、活発な活動ができた1年だったと振り返る。広い園庭があり、地域の文化財「獅子舞」のスタート地点として協力体制を強化するなど、自治会とも双方に良い形で関係を深めている。地域を理解し、施設目的を最大限に果たしたい中、施設の老朽化は気になる施設であるため、継続的に自主点検、保守、修繕等をしっかり行い、安全で安心な運営を維持発展できるようチーム一丸となり尽力した1年だった。

\*\*\*\*\*

(木育事業)引き続き、こどもの育ちに必要な良質な木もおもちゃを遊びに取り入れ、事業を実施。定期的な利用者がちらほら出てきたので、より積極的に集客をうながし、事業を発展させながら、実施したい。

今年で2年目になる内間こども園 子そだて広場「わくわく」の出前出張でのセンター利用では、多くの親子が来館。平日利用が少なかった未就学児の親子の来館が増え、その他曜日にもセンターで「わくわく」を紹介するなど、相乗効果がうまれている。

(沖縄食育子ども食堂)食事支援が必要な家庭に、お弁当(土曜の昼食)や物資の配布の連携ができ、支援家庭から多くの感謝が伝わってきた。てだこ未来応援員、保護課やSSWとも連携し、不登校やネグレクトが心配される家庭との関わりのきっかけになっている。また食堂活動を周知したことで、地域企業から月1回の弁当寄付の支援をいただけるようになり、育成支援の食育として深く広く活動が続けられるきっかけになった。(ユニゾンハーツの設立、沖縄県子どもの居場所応援金事業等活用、沖縄県子どもの居場所ネットワークへも加入)

(命を学ぶ)現代は家庭で難しいと言われる動物の飼育からは、健康状態、食事・トイレの世話、仲間意識、タッチセラピー的効果などを狙いに、安全・衛生面に配慮しながら生き物に目をかけることで、他ではできない命の教育をしている。生き物に触れ、気持ちにゆとりや優しさが見られる様になっている。

(図書の日活動)デジタル化が進む中、紙の本に触れ、ゆっくり座り読み進めることで**集中力を高め、落ち着いた時間を過ごす**といったねらいもあり、子どもたちに浸透してきている。

(地域連携)就任2年目の内間自治会長とも連携。地域のおばあちと交流を深掘りし、沖縄伝統のお菓子一緒に作ることで交流だけでなく伝統継承となっており、今後もこども達と地域木の方々と活動を深めていきたい。スムーズに行い、地域に密着したイベント計画や、学童・子ども会ともつながりを持ち、**既存のネットワークを生かしたコミュニティワークの実践**ができてきている。

【その他】

・網戸の追加設置により風通しを良くすること、配置を変えることで使用方法を変えること、修善することでより使いやすくすること、などを定期的に判断し行なっている。これらを**自主的に実施できる**ところが弊社の強みでもあるため、引き続き積極的に行うことで、**施設の魅力を引き立たせてゆきたい**。

・園庭の水はけが悪いこと、畑の活用が止まってしまっていることなどが懸念点としてあり、どちらも検討、必要に応じて自治会と連携しながら調整を進めたい。

## 7 項目別評価表

市評価年月日 令和7年4月24日

指定管理者と市が評価する。(4:優良 3:適正 2課題含 1要改善)

施設の状況により、項目内容は変更する場合がありますが、25項目数は変更しない。

項目	維持管理に関すること(年2回以上) 【適正性】	自主評価	市評価
①	法令等を遵守しているか。	4	3.7
②	労働環境は適正か。	4	4.0
③	収入・支出の取扱は適正か。	4	3.7
④	年間事業計画のとおり業務を遂行しているか。	4	4.0
⑤	開館時間、休館等は適正か。	4	4.0
⑥	利用者の個人情報保護は適正か。	4	3.7
⑦	日常の事故防止、安全対策は適正か。	4	4.0
⑧	日常の清掃は適正か。	4	4.0
⑨	防犯・警備業務は適正か。	4	4.0
⑩	備品の管理は適正か。	4	3.7
⑪	施設の維持管理(修繕)は適正か。	4	4.0
⑫	危機管理体制(緊急時対応)は適正か。	4	4.0
⑬	施設の使用許可、使用料の減免は適正か。	4	3.7
⑭	利用者に対する接客や職員態度は適正か。	4	3.7
⑮	施設の維持管理に係る人員は適正か。	4	3.7
⑯	施設の定期保守点検は適切か。	4	4.0
16項目	小計	64	61.7

点数を記載する。

項目	経営等事務処理に関すること(年1回以上) 【効率性】	自主評価	市評価
①	適正な経理事務であるか。	4	3.3
②	省エネルギー等環境配慮に努めているか。	4	3.3
③	支出の減少を図る取組を行っているか。	4	3.3
④	職員の資質・能力の向上を図る取組をしたか。	4	3.7
4項目	小計	16	13.7
項目	【有効性】		
①	施設の設置目的が十分に達成できたか。	4	4.0
②	利用者の意見を把握するしくみが確立しているか。	4	3.3
③	協定は遵守しているか。	4	3.7
④	利用者の満足度はどうか。	4	4.0
⑤	地域のため貢献しているか。	4	4.0
5項目	小計	20	19.0
25項目	合計	100	94.3

## 8 評価基準

(前ページの25項目(年間)合計を100点満点とする。)

	評価点	評価内容
項目別評価	4	法令等を遵守し、計画された業務水準を超える指定管理者独自の取組を実施するなど、特に優れている。
	3	法令等を遵守し、適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準のとおり成果を上げている。
	2	法令等を遵守しているが、指定管理業務の一部に課題がある。
	1	法令等を遵守しておらず、改善の必要がある。又は年間を通じ計画された業務の水準を達成できなかった。

ここでの「法令等」とは、法令、条例、規則、協定書、仕様書、事業計画書等をいう。

	評価		評価内容
総合評価	A	優良	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ90点以上である。中間評価の場合は、53点以上とする。
	B	適正	市の項目別評価がすべて3点以上、かつ75点以上90点未満である。中間評価の場合は、45点以上53点未満とする。
	C	課題含	市の項目別評価に2点が1つでもある。
	D	要改善	市の項目別評価に1点が1つでもある。

## 9 市の総合評価

評価	評価コメント
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正に指定管理業を行っており、年々施設整備・管理の質が向上している。</li> <li>・建物自体の古さはありませんでしたが、それを感じさせないよう指定管理者が工夫を凝らしている点が多々見受けられました。また、地域との連携が感じられました。</li> </ul>